

「守られる人から守る人へ」

2 2 1 2 1 3

「守られる人から守る人へ」をまさに実行してくれた出来事が昨日ありました。

3年生の下校時、正門から出た岡崎信用金庫の前の信号機のある交差点でのこと。小学生が集団下校の際にトラブルとなって一方が頭から血を流してしまう事故が起きました。そこに通りかかった幸中の3年生数人が、大量に流血している状況からとっさの判断をして、中学校に先生を呼びに行く、近くの自分の家から応急処置の薬を持ってくる、本人を落ち着かせて安心させる、荷物を運んであげるなど、臨機応変に適切な動きをしてくれたそうです。また、連絡を受けて駆け付けた先生方が、すぐに119番通報をして救急車を要請したり、小学校に連絡をしたりするなどの対応をしてくれました。

その後、その場での対応が良かったことで、ケガをした子は速やかに病院で処置をしてもらい、保護者に迎えに来てもらって無事に家に帰ることができたそうです。

この件について、幸田町教育委員会からも、小学校の校長先生からも、学校に「中学生と先生方の素早く、適切な行動で大事に至らずに済みました。本当にありがとうございました。幸中生、先生方の対応に感謝しています。」という連絡が入りました。

目の前で起きた事故に対して、とっさの判断で対応したことは、まさに「守られる人から守る人」としての行動でした。中学生として素晴らしい行動を見せてくれたこと、そんな幸中生がいることを誇らしく思います。心から感謝しています。ありがとう。